放送開始５周年祝う

おかえりモネ同窓会開催

「放送５周年記念『おかえりモネ』同窓会in登米夢想」が５月17日、撮影で使用された寺池園や長沼ボート場クラブハウスで開かれ、全国から31人が参加しました。

同窓会は、５年前に放送されたドラマを振り返り、全国のファンとの結びつきを深め、本市の魅力を広く発信するために開催。参加者は、寺池園で第１話を鑑賞し、主人公・モネの通勤経路をバスで巡った後、長沼ボート場クラブハウスで作品の思い出などを語り合いました。板倉ひとみさん＝大阪府＝は「ドラマが縁で登米市に４回来ました。モネちゃんの通勤経路を体験できて感激です」と笑顔で話していました。

ドラマは、令和３年５月17日に放送開始。寺池園では、放送開始８時に合わせて、それぞれ第１話を鑑賞しました。

色鮮やかな春の風物詩

米山チューリップまつり

「米山チューリップまつり」（道の駅米山ふる里センターY・Y、米山町農業生産組織連絡協議会主催）が４月22日から５月６日まで、道の駅米山に隣接する会場で開かれ、連日多くの来場者でにぎわいました。

春の風物詩となっているチューリップまつりの会場には、姉妹都市の富山県入善町から買い付けた球根30品種約６万本が植えられ、市外からも多くの観光客が訪れました。宮崎三千代さん＝加美町＝は「友人を誘って久しぶりに来ました。前回来たときより面積が減りましたが、それでも見応えがあってきれいなので、また来年も来たいです」と話していました。

来場者は、写真撮影を楽しんだり、鮮やかに咲いたチューリップの中から自分好みのものを探して買い求めたりしていました。

楽しさ満点とめまる

笑い声響く盛況マルシェ

「とめまる2026」（同実行委員会主催）が５月23日、エスファクトリー東北中江公園とオサベフーズ迫体育館を会場に開催され、約３万人が来場しました。

とめまるは、「一日遊べる手作りマルシェ」をテーマに、グルメや物販コーナーのほか、ステージや体験ブース、キッズスペース、若者チャレンジ企画など、90を超える多彩なブースが並び、会場は大いに活気づきました。家族で訪れた千葉優さん＝南三陸町＝は「初開催から毎回来ています。キッズスペースで休憩できるのが助かりますし、子どもたちはビーズ工作や出店を満喫していたのでよかったです」と声を弾ませていました。

小・中・高校生や大学生が企画運営するブースもあり、幅広い世代が関わり合う中、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。

個性輝く作品一堂に

登米市民ふれあい美術展

「第22回登展～登米市民ふれあい美術展～」（登展実行委員会、登米文化振興財団主催）が４月25日から５月５日まで、水の里ホール・Abebisou小ホールで開催されました。

美術展には、市内をはじめ栗原市や大崎市など県内各地から、愛好家54人が油彩や水彩、ペン画など計81点を出展。10日間で計675人が来場しました。親子で来場した菅原春さん（８）＝中田町十文字＝は「いろいろな種類の絵があって楽しかったです。窓が描いてある絵が何枚かあって、それがとてもかっこよかったです」と笑顔で話していました。

来場者は、会場いっぱいに並ぶ力作の前で足を止め、作品の魅力を感じながらゆっくりと鑑賞していました。

大きく育てスギの木

市民参加の植樹祭を開催

「市民参加の新たな森林づくり」植樹祭が５月24日、東和町米谷地内で開催され、市内小学校や市内外の企業などから134人が参加し、少花粉スギの苗木850本を植樹しました。

植樹祭は、森林資源を次世代へと残し、地球温暖化防止につなげることや、自然環境に直接触れ、森林に親しんでもらうことなどを目的に、県と市の共催で毎年開催。参加した東和みどりの少年団団長の小野寺大和さん＝東和小６年＝は「みんなで協力して、土を掘ったり木を植えたりするのが楽しかった。今日植えた木が大きく育っていくのが楽しみです」と話していました。

参加者は、大切な森林を次世代に残すために、大きく育てと願いを込めながら、苗木を一本一本丁寧に植樹していました。

校長先生の言葉探せ

教育資料館で謎解き体験

「明治の小学校 謎解き体験『校長先生の大切な言葉を探せ！』」（とよま振興公社主催）が５月３から５日まで、教育資料館（旧登米高等尋常小学校）で開催され、家族連れなどが謎解きに挑戦しました。

謎解き体験では、参加者が教室などに隠されたヒントから、知恵を絞って校長先生の「大切な言葉」を探し出しました。観光で訪れた竹野圭子さん＝東京都＝は「問題の中で『登米市』と『登米町』で読み方が違うのを初めて知りました。難しい問題もありましたが、教室にあるヒントを頼りに、全ての謎を解くことができたので楽しかったです」と笑顔を見せました。

明治時代に建てられた校舎の中で、歴史に触れながら謎を解き進める参加者。家族で会話を弾ませながら楽しんでいました。